

# 風評払拭・リスクコミュニケーションの取組

～復興庁と協力して、放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭のための広報を実施～

## I こども新聞

小・中学生を対象にマンガで分かりやすく説明

＜小学生新聞＞ 約40万部  
読売KODOMO新聞（平成30年2月22日）  
朝日小学生新聞（平成30年3月11日）  
毎日小学生新聞（平成30年3月11日）

＜中高生新聞＞ 約13万部  
読売中高生新聞（平成30年3月9日）  
朝日中高生新聞（平成30年3月11日）



＜校内掲示用ポスター＞ 約10万部  
内容：小学生新聞広告をポスター化  
対象：全国の小学校20,056校  
期間：平成30年2月中旬～3月  
サイズ：A2判

## II ラジオ番組×校内放送×フリーペーパー

高校生を対象にラジオ番組と連動した校内放送等を展開



文化放送「レコメン！」・月～木 22時～25時  
24時～25時は全国36局ネットで生放送

### ＜①番組内5分コーナー＞

内容：放射線に関するクイズをもとに  
早野龍五東京大学名誉教授が解説  
（MC：オテンキのり）

放送：平成30年5月22日～6月12日  
毎週火曜24時台 × 計4回

- #1 「放射線って何？」
- #2 「放射線と食べ物」
- #3 「放射線はうつらない」
- #4 「福島県の高校生の思い」



### ラジオスポットCM

内容：放射線理解（20秒）  
放送：平成30年5月下旬～ 24時台  
回数：計60回程度

### ＜②校内放送＞（番組の再編集）

内容：「放射線って何？」「放射線はうつらない」  
（5分×2パターン）

対象：全国の高校1,317校（延べ88万人）

期間：平成30年6月4日～6月25日

放送：昼休みまたは登下校時（学校一任）

### ＜③校内フリーペーパー＞（番組の再録）

媒体：YOUTH TIME JAPAN

対象：全国の高校2,362校

発行：10万部（平成30年7月2日予定）

体裁：A4判・カラー1ページ

## III 日本教育新聞

教職員・教育関係者に向けて情報発信

### ＜教育専門全国紙＞

発行：約23万5千部（全国）

掲載：平成30年7月9日号・7月16日号（予定）

サイズ：全15段・モノクロ × 計2回

内容：①放射線教育

②ホープツーリズム（福島への教育旅行）



オテンキのり

パーソナリティ歴6年目突入！得意の「小ポケ」と言う名のスパイスを、まぶしながら放送中。辛すぎずしょっぱすぎず、おいしい夜をあなたにお届け中！



早野龍五  
(はやの りゅういち)

東京大学名誉教授、1952年生まれ。スイスのCERN研究所を拠点に、反物質の研究を行う。2011年3月以降、東京電力福島第一原子力発電所事故に関して、現状分析の内容や放射線に関する情報をTwitterを使って発信した。新潮文庫「知ろうとすること。」を糸井重里氏と共著し、科学的に考える力の大切さを提唱。



知るといふ  
復興支援!

文化放送  
AM1134 / FM91.6

レコメン!  
MON-THU 22:00-25:00  
JQR FM91.6MHz / AM1134kHz

政府広報  
復興庁

# 文化放送レコメン! 正しく知ろう 放射線ホントの話

文化放送「レコメン!」内で全4回にわたって放送された「正しく知ろう 放射線ホントの話」。番組では、放射線に関するクイズをもとに、東京大学名誉教授・早野龍五先生のわかりやすい解説をうかがいながら放射線について学びました。

Q.01 放射線は今あなたの周りにある。○か×か?

早野 正解は「○」。あるんです。

のり 早野先生、そもそも「放射線」ってどんなものなんでしょうか?

早野 もともと放射線は空気や地面などの自然界、つまり私たちの身の回りに存在しています。日常でも私たちはこうした放射線に当たっていますし、のりさんの体からも、私の体からも出ています。

のりへえ、体からも出ているんですね!

早野 ちなみに「放射線」と「放射能」は違うものです。放射線は「光の仲間」。放射能は「放射線を出す能力」のこと。例えると「電球と光」のような関係でしょうね。

のり そうなんです。僕は一緒のものだと思っていました。ちなみに、「放射線を浴びるとガンになる」と聞いて、たことがあるんですが、ホントなんですか?

早野 これは「量」の問題なんです。放射線をたくさん浴びれば、たしかにそういうことは起こり得ます。ただし、先ほどお話ししたように、日常生活において放射線はどこにでも存在します。普段、身の回りに存在する放射線の量はわずかなので、健康に影響はありません。

例えば「100〜200ミリシーベルト」という放射線量は「短時間で一度に浴びた場合、私たちが1年間で浴びている放射線量のだいたい100倍ぐらいになるのですが、ガンになる危険性が1・08倍ぐらいになるといわれています。これは「野菜を十分に食べていない」とか「塩分の多いものを食べている」といったこととガンになるリスクは似たようなものなんです。



のり「量」の問題だということを知りました。「放射線」がどこにでもあるんだということも初めて知りました。

Q.02 今日あなたは放射性物質が入ったものを食べた。○か×か?

早野 正解は「○」。放射性物質は、基本的には全ての食べ物の中に入っています。

のり それって福島原発事故と関係あるんでしょうか?

早野 先ほどお話ししたように、放射線は地面からも出ているし、人体からも出ている。その放射線を出す放射性物質は、地面にもあるし、私たちが食べている食べ物の中にも入っています。原発事故がなくても、もともと入っているものなんです。だから、食べ物を食べる全ての人は、のりさんも僕もみんな、年間1〜2ミリシーベルトぐらい被曝していることになるんですよ。

のりでは、福島の原発事故は関係ないんですね。

早野 はい。「ほぼ全ての食べ物に放射性物質が入っている」という点では、福島の事故とは関係がありません。ただ、福島の原発事故の後、「放射性セシウム」という物質が食品の中に入っているかもしれないということが心配されて、世界で最も厳しいレベルの基準を設けました。また、万が一基準値を超えるようなことがあっても、売り場には出ないようになっています。

Q.03 放射線は「うつる」。○か×か?

早野 正解は「×」。「うつらない」です。放射線はウイルスではありません。だから、増殖したり、うつったりする(人から人へ感染する)ことはありません。放射線は「光の仲間」だというお話をしましたが、具体的に「紫外線」や「Wi-Fi」の電波などの「電磁波」というものの一種なんです。

のり電磁波なんですか。そう聞くと、身近な感じがします。では先生、子どもや孫への放射線の影響について教えてください。

早野 福島では人々が受けた線量が広島や長崎よりもはるかに低いので、子どもや孫に何らかの影響が出るということは考えられなさとされています。正しい知識を身につけて、自分で考えて判断することが大切

のり 今回、知らないことがたくさんあったので、本当に勉強になりました。

早野 一部の学校では福島から転校してきた子がいわれない「いじめ」にあっているケースなども報告されています。放射線に関する知識を「知らない」ことによって、「いじめ」を起こしてしまったり、偏見を持ってしまったりすることがないように、よく勉強をしていただければと思います。福島から遠い所に住んでいる人たちも、放射線について正しく知ることによって福島の復興を支援することができるとは思いません。

のり先生、ありがとうございます。正しい知識を身につけて、自分で考えて判断することが大切だということがよくわかりました。



文化放送 AM1134 / FM91.6

レコメン! MON-THU 22:00-25:00 JQR FM91.6MHz / AM1134kHz

『レコメン!』月~木 22:00~25:00 生放送

文化放送・秋田放送・ラジオ福島・静岡放送・KBS京都・南海放送で放送。24:00~25:00は文化放送を含め全国36局ネットで放送。

〈月~水〉オテンキのり / 〈木〉棚山照史・中間淳太(ジャーナズWEST)

パーソナリティ

CHECK! 周りの人にも教えてあげよう!!

【政府広報オンライン】放射線の話 放射線についてマンガなどでわかりやすく説明しています。

政府広報オンライン